

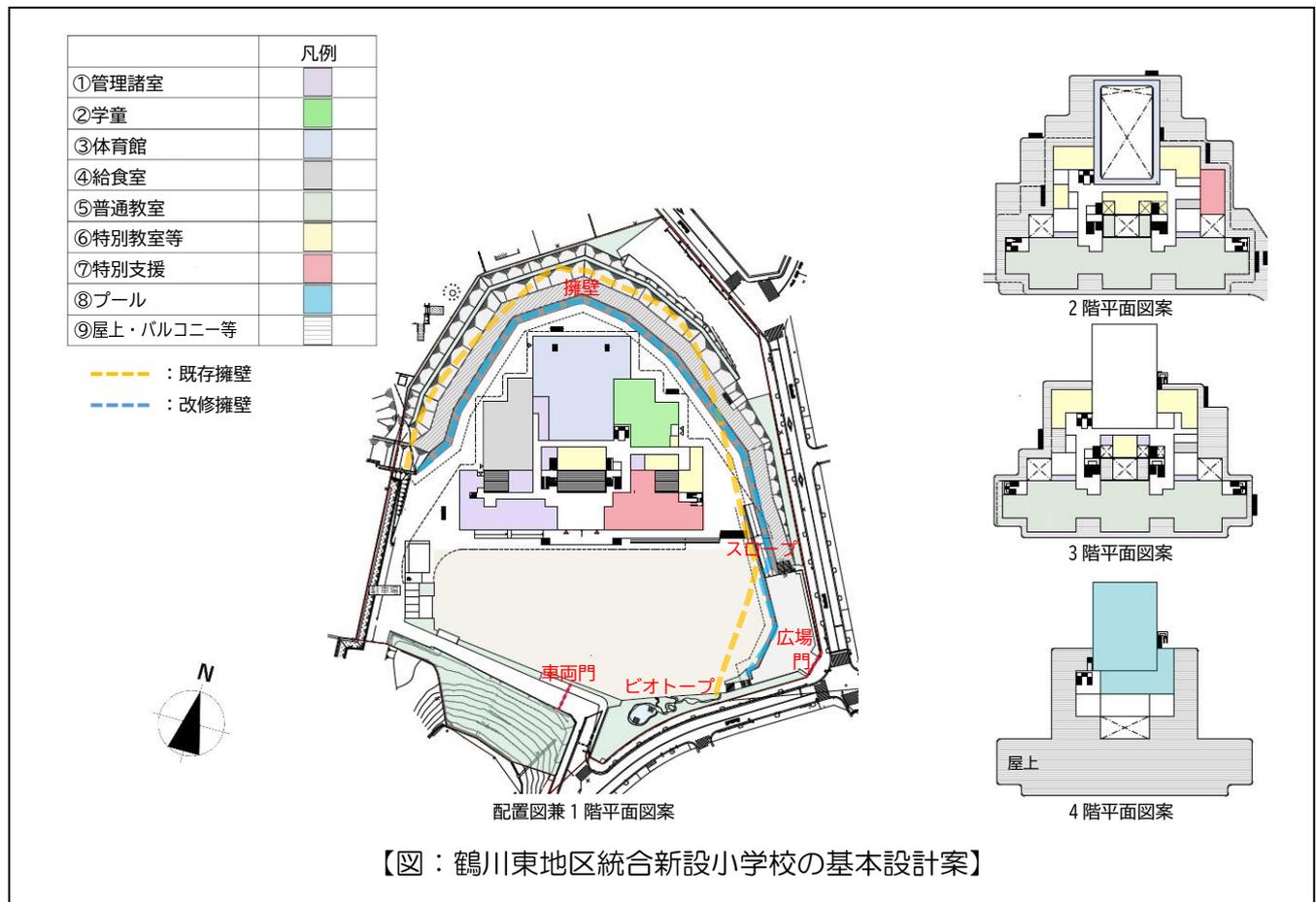
鶴川東地区統合新設小学校の基本設計における進捗について

鶴川東地区統合新設小学校は現在、2033 年度に新校舎の使用開始を目指して基本設計を行っております。2024 年度は、擁壁や建物について基本的なプランの検討を進めています。

1 プラン案について

建物は、第3回推進協議会にてお示しし、より良い評価を得たA案をベースに検討を行っています。校舎と体育館を集約しコンパクトな配置にしたことで、教室移動距離が抑えられるとともに校庭面積をできるだけ広く確保できるよう配慮しています。また、圧迫感などの近隣への影響を配慮しなるべく低層にしています。また、擁壁は敷地北側にある土砂災害特別警戒区域の指定を解除しながら、できるだけ校庭面積が確保できるよう改修します。

なお、教室などの諸室の位置、外構計画、地域開放区画の範囲などの内部の構成等の詳細については、今後検討を進めます。



2 設計及び建設のスケジュールについて

スケジュール	
2025 年 5 月頃	基本設計完了
2025 年度	実施設計完了
2027 年度～2028 年度	修正設計（学級数の変更・法規改正への対応）
2029 年度～32 年度	本校舎解体工事・擁壁工事・新校舎建設工事
2033 年度	新校舎使用開始・外構及び校庭整備